

# 令和4年度 第2回カーボンニュートラル 普及セミナー（対面+Web開催）

## ～カーボンニュートラルへの対応～

開催日時: 令和4年10月26日(水) 14:00～16:30 参加費: 無料

埼玉県産業振興公社では 今年度からカーボンニュートラル普及セミナーを開催し、自動車関係の中小企業が今何に取り組むべきなのかについて、その背景や具体的取組事例などを紹介していきます。(年3回開催予定)

### 講演1 「カーボンニュートラルに向けた省エネのススメ」

一般財団法人 省エネルギーセンター

省エネ技術本部 省エネ技術センター長 藤林 晃夫氏

<概要>  
温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロとする、いわゆる『カーボンニュートラル』を目指して国や地方公共団体の動きが活発になるとともに、各種ステークホルダーで脱炭素の機運が高まっています。本講演では、脱炭素経営の促進、持続的な企業価値の向上を推進するために、その第1ステップとなる省エネの重要性を説明すると共に具体的にエネルギー最適化診断を活用したコスト削減、脱炭素化の同時達成に向けた取組について解説します。

#### <プロフィール>

1983年 東北大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 修了  
日本鋼管株式会社(現:JFEスチール) 入社  
1991年 英国 Imperial College 留学  
2012年 博士(工学)取得(北海道大学)  
2012年 JFEスチール スチール研究所 副所長  
2014年 JFEスチール 研究技監  
2019年 一般財団法人 省エネルギーセンター

◆エネルギー価格の急騰を受け、「省エネ」によるコスト削減が喫緊の課題に  
◆「カーボンニュートラル」、「企業の持続的成長」など、長期的課題への対応



### 講演2 「2035年 工場におけるカーボンニュートラルに向けたチャレンジ」

トヨタ自動車株式会社

プラント・環境技術部 生産環境室 室長 河浪 順矢氏

<概要>  
トヨタ自動車では昨年2035年までにカーボンニュートラルを目指すことを公表しました。それに向けて日常改善・製造技術革新・再生可能エネルギーの導入といった軸でその達成を目指して活動を進めています。本日は各々の活動の具体例を交え、製造部門のカーボンニュートラルに向けた戦略を紹介します。

#### <プロフィール>

トヨタ自動車(株)に1997年入社し、生産環境分野全般にわたる業務及び国内外の新工場建設やインフラ関係の運転保全業務に従事。近年は、2035年工場カーボンニュートラルやトヨタ環境チャレンジ2050を達成するため多方面にわたる企画立案を行い、この活動を積極的に推進しています。



開催日時 令和4年10月26日(水) 14:00～16:30 ※名刺交換会を含みます

参加費 無料

定員 50名+オンライン80名

会場 新都心ビジネス交流プラザ4F (さいたま市上落合2-3-2)

※Zoomでオンライン参加できます。なおコロナ感染が拡大した際には全面的にZoom開催に切替える場合があります

申込締切 10月19日(水)16:00まで

※開催前日までにセミナーのURLをご案内します。

申込方法は、ホームページから  
<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/cn20221026d2/>

問合せ先 (公財)埼玉県産業振興公社 先端産業振興グループ  
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-711-6870 FAX 048-857-3921  
URL <https://www.saitama-j.or.jp/jidosha/> E-MAIL [jidosha@saitama-j.or.jp](mailto:jidosha@saitama-j.or.jp)